



12/11
(金)

海底光ケーブル敷設 獅子島に光回線整備へ

獅子島で高速光通信サービスを提供するための海底光ケーブル敷設工事が12月11日から12日にかけてありました。

諸浦・獅子島間約3^{キロ}を1本のケーブルで結ぶ同工事は敷設船「おりおん」のほか、地元漁民による警戒船の協力の下実施されました。

諸浦の通信局から引かれたケーブルは海上のフロートを利用しておりおんがゆっくりと延伸。ダイバーの手作業でケーブルは海底に沈められ、獅子島に到達すると陸揚げされました。

国の補助を受けて行われている同工事は総事業費約3億9千万円。獅子島での高速光通信サービスの利用受け付け開始は4月の予定です。



獅子島へ光ケーブルの延伸

12/12
(土)

蔵之元小でバリアフリー教室開催 介助の理解深める

12月12日、蔵之元小学校(肥後広行校長・57人)では、3、4年生18人を対象に高齢者や障がい者への思いやりの心を育てもらうための心のバリアフリー教室を行いました。

当日は町社会福祉協議会の職員が講師を務め、児童らは介助する側、される側を体験。目が見えない人の誘導の仕方や段差で困っている車いすの人の介助方法を学び、誰もが参加しやすい社会について考えました。

4年生の脇田希彩さんは「段差で車いすを動かす

のが大変だった。困っている人たちを見かけたら助けたい」と話しました。



車いす体験する児童

12/14
(月)

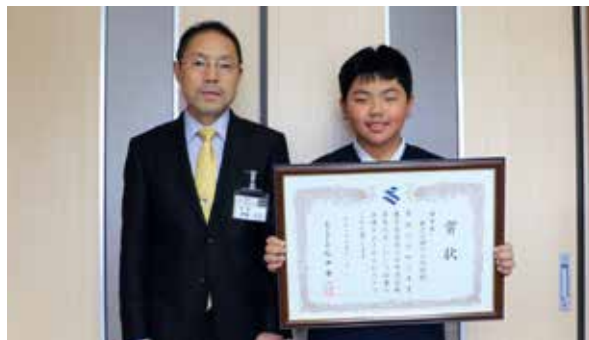
蔵之元小「緑の少年団」が優秀賞 長島の自然守りたい

令和2年度「鹿児島県緑の少年団活動発表大会」で蔵之元小緑の少年団が優秀賞を受賞しました。

これは地域の森林保全・緑化活動に優れた少年団を表彰するもので、今回は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、発表を撮影した動画による映像審査となりました。

作品は4年生以上の団員全員が参加し脚本やカメラマンなども担当し制作。植樹体験や地域住民への宅配活動などを通して、団員が成長する様子を描いたストーリーです。

6年生の小浦海斗君は「木を植えて育てていくことの大切さを学んだ。これからも木や花を大切にしたい」と笑顔を見せました。



受賞を喜ぶ小浦君(写真右)